資料１

経営形態検討の考え方

【市民病院の果たすべき役割】

１	地域完結型医療	４	小児・周産期医療
２	救急医療	５	災害医療
３	高度医療	６	へき地医療

地域に必要な医療を安定的かつ継続的に提供していく必要がある

一層健全で安定した経営基盤の確立が不可欠

公共性の確保

地域の基幹病院として、地域の医療水準を維持しながら、救急、小児、周産期等不採算部門などの政策医療を将来にわたって安定的、継続的に提供することが可能か

経済性の確保

経営責任の明確化を図り、迅速性、弾力性のある自律的かつ効率的な病院経営が可能か

市民病院の経営形態

円滑な移行の確保

職員の労働環境など問題なく円滑に経営形態を移行することが可能か